
ニューズレター・JASESS No.97

社会・経済システム学会 2018年5月8日

■社会・経済システム学会第37回大会のご案内

第37回大会は、静岡大学浜松キャンパスで開催されます。ふるってご参加ください。

大会テーマ：「21世紀の産業革命による社会・経済システムの変容」

開催日：2018年10月27日（土）・28日（日）

場所：静岡大学 浜松キャンパス

大会実行委員長：李 皓 会員

連絡先：〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学浜松キャンパス

情報学部行動情報学科 李皓研究室内

社会・経済システム学会大会実行委員会

e-mail: ibuki@v007.vaio.ne.jp

【大会テーマ趣旨説明文】

20世紀後半から始まった物事の情報化は、21世紀に入ってからさらに加速した。インターネットは人と情報を繋ぎ、人間同士の社交をネットワーク化することで、多様な価値観を持つ人々が、徐々に分かり合えるようになると期待されたが、人々のクラスタ化が進み、思想が異なる人々の交流が減少し、多くの社会に大きな分断やコンフリクトを作り出した。そして今ではヒトとヒト、ヒトとモノだけではなく、モノとモノ、モノとコトも繋がるようになり、ヒトが価値ネットワークに介在する意味が薄くなった。

同時に、情報化によってあらゆるシステムが効率化・合理化されることで、繰り返される退屈な単純労働からの解放が人々に歓迎された一方、今では高度な知的労働も情報システムに置き換えられ始め、数十年後には、多くのヒトの知能は人工物のそれに凌駕されることが予想されている。21世紀の産業革命によって、あらゆる組織において、高付加価値を生む行動や意思決定の主体はヒトから人工物へと代わることが予想されている。また、社会・経済の富を所有者に分配する現在の仕組みでは、社会・経済システムの安定性の維持が困難になる可能性が指摘されている。しかし一方で、人口減少時代に伴う多くの問題に対する処方箋の一つとして、高度情報化による社会・経済システムの再構築も強く期待されている。

ここ数十年の情報化によって、我々の社会・経済システムは大きくその姿を変えた。本大会では、「21世紀の産業革命による社会・経済システムの変容」という大会テーマのもと、さらに加速する情報化やそれに伴う産業革命が我々の生き方に与えた影響を踏まえ、社会・経済システムに含まれるヒト・モノ・コトに関連するあらゆるテーマに対して、多様な観点からの理論・設計・実践・構築などの研究発表が盛んに議論されることを期待する。

1. 報告をご希望の方は、所属機関・氏名・報告論題・報告要旨（400字～600字程度）を 2018年6月15日（金）必着で、下記リンク先のグーグルフォームよりご応募ください。

<https://goo.gl/JYNmCg>

グーグルフォームをご利用できない方は、学会事務局（宛先：〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1 東京女子大学赤堀三郎研究室 社会・経済システム学会）まで封書でお申し込みください。

ご報告の採否は2018年7月末ごろまでにご通知する予定です。

2. ご報告いただくことになった際には、2018年9月14日（金）必着でA4版×2枚ないし4枚（偶数枚のみ）の報告要旨原稿をお願いすることになります。予めご了承ください。

■『社会・経済システム』第38号・第39号について

学会誌『社会・経済システム』第38号は、第35回大会関連論文・一般投稿論文により構成される予定で、現在編集作業中です。

『社会・経済システム』第39号に掲載の第36回大会関連論文・一般投稿論文の投稿募集につきましては、締切を6月15日まで延長します。詳細は本学会公式ウェブサイト掲載の「第39号編集委員会からのお知らせ」をご参照ください。

URL <http://jasess.jp/j>

■第36回大会は好評裡に終了しました。

社会・経済システム学会第36回大会は、「社会・経済システムの中の多様性と分断」と題する大会テーマのもと、2017年11月18日（土）・19日（日）の両日、芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催されました。

大会テーマのもと、両日にわたり分科会・企画シンポジウムにおいてそれぞれの報告者からこの分野における研究の最新動向について報告が行われるとともに、大会は盛況のうちに終了することができました。大会の開催に尽力されました芝浦工業大学の小山友介実行委員長をはじめとする大会実行委員の皆様のご尽力に深く感謝いたします。

■シニア会員制度について

2019年度からの「一般会員」から「シニア会員」への会員資格変更を受け付けます。

次年度に関しましては、以下の要件を満たす会員が、2018年度理事会および総会の承認を受け、「シニア会員」（2019年度以降の会費納入の義務なし）となることができます。

1. 満65歳以上であること。
2. 10年以上の正会員歴をもち、会費を完納していること。

2019年度からの「シニア会員」への資格変更をご希望の方は、本年10月20日までに、学会事務局（office@jasess.jp）までご連絡をお願いいたします。

■2016 年度会計報告および 2017 年度予算

2017 年 11 月 18 日 (土) の総会で承認された 2016 年度決算と 2017 年度予算について、次のとおりご報告申し上げます。

社会・経済システム学会 2016 年度 会計報告

1.収支決算書(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

支 出		収 入	
通信費	108,432	会費	1,215,000
消耗品費	486	一般会員	(1,099,000)
アルバイト謝金	14,560	学生会員	(116,000)
大会準備費	29,630		
大会運営費	323,118		
理事会費	80,947	利子	325
学会誌編集委員会費	88,504	三菱東京 UFJ 銀行(普通)	(17)
(財)日本学術協力財団分担金	50,000	ゆうちょ銀行(普通)	(308)
印刷費	19,440		
関東部会費	23,850		
関西部会費	23,850		
HP システム保守費	64,800	学会誌バックナンバー販売	25,875
当期支出小計	827,637	当期収入小計	1,241,200
予備費	5,000,764	前期繰越金	4,587,201
合計	5,828,401	合計	5,828,401

2.貸借対照表(2017 年 3 月 31 日現在)

借 方		貸 方	
現 金	1,000	次期繰越金	5,000,764
三菱東京 UFJ 銀行(普通)	2,004,818		
ゆうちょ銀行(普通)	2,994,946		
合計	5,000,764	合計	5,000,764

社会・経済システム学会 2017 年度 予算

予算 (2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

支 出		収 入	
通信費	80,000	会費	1,220,000
消耗品費	5,000	一般会員	(1,120,000)
アルバイト謝金	15,000	学生会員	(100,000)
大会運営費	400,000	学会誌バックナンバー販売	15,000
理事会費	40,000		
学会誌編集委員会費	100,000		
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
印刷費(学会誌第 37, 38 号等)	1,150,000		
関東部会費	30,000		
関西部会費	30,000		
HP システム保守費	65,000		
当期支出小計	1,965,000	当期収入小計	1,235,000
予備費	4,270,764	前期繰越金	5,000,764
合計	6,235,764	合計	6,235,764

■新入会員紹介

次の方々の入会が2017年11月18日（土）の総会で承認されました（敬称略）。

	氏名	所属	専門分野	区分
1	おかだ まさひろ 岡田 昌浩	広島大学	法律学（商事法・知的財産法）	一般
2	よきの ありのり 与謝野 有紀	関西大学	社会学	一般
3	はやし なほこ 林 直保子	関西大学	社会心理学	一般
4	りゅう ちようえん 劉 兆媛	東京大学大学院学際情報学府	社会情報学	学生
5	くすもと ちひろ 楠本 千裕	福岡大学大学院経済学研究科	数理経済学	学生
6	ひらいし なおや 平石 尚也	福岡大学大学院経済学研究科	数理統計学	学生
7	ちん ぜん 陳 全	京都大学大学院総合生存学館	総合生存学	学生
8	とくまる のりお 徳丸 宜穂	名古屋工業大学	技術経済論、比較政治経済学、企業論、進化経済学	一般
9	もりた しげお 森田 成男	天理大学	経済社会学、経営人類学	一般

■会費納入のお願い

該当する会員の皆様には、本ニューズレターとともに、「年会費ご請求のお知らせ」と「会費納入の払込用紙」（ゆうちょ銀行）を同封しております。

2018年度も会費ご納入のほど、よろしくお願い申し上げます。

■変更届提出のお願い

ご住所、ご所属、その他、会員情報にご変更がございましたら、学会事務局 (office@jassess.jp) までお知らせください。

また、変更・入会・退会に関する手続きについては、学会公式ウェブサイトの <http://jassess.jp/a> からご覧になれます。

* ニューズレター、学会誌等、配布物の返送が相次いでおります。送付先変更がございましたら、速やかに事務局までお知らせくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。